

15

千代田区景観まちづくり重要物件

今莊

指定日 2003（平成 15）年 6 月 9 日

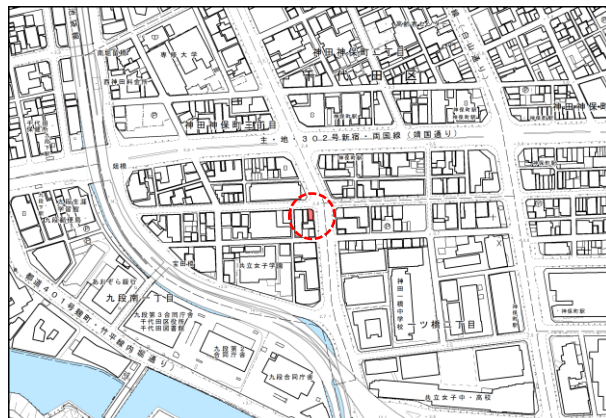
所在地 神田神保町三丁目 15 番地

設計者 佐藤組

竣工 1933（昭和 8）年

文化財等
指定状況

-



▲今莊

歴史・文化的特徴

昭和初期、洋風の市街地ビル建築に国風を表現した帝冠様式が流行し、木造建築にも和洋折衷のデザインが施されたものが現れました。時代文化を伝える希少な価値を持つ建物となっています。

意匠・構造の特徴

震災復興期における木造 3 階建ての建物で、看板建築の一種とも言えますが、独自の和洋折衷デザイン、特に、震災復興の区画整理で初めてできた角地の隅切りを活かしたファサードが印象的です。玄関は唐破風、最上部は神社のような千鳥破風・蟬股を持つ和風フレームがあり、その下に和とも洋とも取れる大きな丸窓があります。



最上部のフレームと
大きな丸窓▶

周辺景観との関係

専大前交差点南側の集英社ビルの近くにある、うなぎ専門料理店です。独特なファサードが周囲に異彩を放ち、本の街神田にポストモダン的な文脈を刻み込んでいます。